

# お 知 ら せ

## 平成30年度「保育所の自己評価」について

平成30年度の「保育所の自己評価」を実施しました。

評価対象期間：平成30年度（平成30年4月5日～平成31年3月26日）

### 1. 各保育者の自己評価を行いました。

自己評価のチェックリストは58項目、乳児保育担当6項目、長時間保育担当3項目。記述式あり。

### 2. クラス毎に自己評価を行いました。

個別の自己評価の後に、クラス毎に自己評価を行い、1年間の保育を振り返りました。

### 3. 上の結果を踏まえて、保育所の自己評価を行いました。

個々の保育者の自己評価から、保育の取り組み状況が把握でき、園として改善すべき課題が見えてきました。

### 4. 保育所全体の自己評価を行い、以下のようにまとめました。

- (1) 自分でできることは自分でする、できることを増やすといった目標のための働き掛けを意識的に行った。
- (2) 朝夕の混合保育時間帯に、必ずしも担任が保護者に会えるわけではないので、保護者とのコミュニケーションの取り方に課題がある。
- (3) 園内研修として保育指針の読み合わせの機会を多く設定し、保育の向上・改善を図った。応急処置方法や子どもの人権などの園内研修も継続的に企画していく。
- (4) 担任間で相談や問題の共有などの話し合いが積極的に行われ、協力しあって保育の質の向上につなげる努力がなされた。
- (5) 職員会議等で積極的に発言ができていないと感じている職員がいる。より活発な意見交換・問題の共有が行われるよう、会議の在り方について見直していく。
- (6) 園全体で絵本の読み聞かせに力を入れている。言葉の習得を促すためだが、文字自体への興味を引き出すための働き掛けや工夫がさらに必要である。
- (7) 落ち着いて人の話を聞くことのできない子どもに対して、その姿勢や態度を改善するのに苦勞するケースが見られた。専門的なアプローチが必要な場合もあり、園内外で学ぶ機会を増やしていく。
- (8) 発達障害について、保育者間でより一層の理解を図り、対応する力を高めるようにしていきたい。
- (9) 子ども一人ひとりとの関わりを大切にすることを意識しているが十分ではなかったという反省が見られた。
- (10) 食事のマナー指導の成果は、クラス間により差があり、毎月の給食内容検討会議の充実や全職員との共有などにより改善を図っていく。

以上、評価の結果を踏まえて、今後もより良い保育を提供できるよう努力してまいります。

平成31年3月31日  
白鳥保育園